【 2018年度 展覧会のご案内 】

Exhibition Schedule 2018

香川県立東山魁夷せとうち美術館では、年間4回のテーマ作品展と2回の特別展を行います。テーマ作品展は、魁夷の版画作品を中心とする所蔵品から、季節や取材地などのテーマに基づいて作品を選び紹介するものです。

Kagawa Prefectural Higashiyama Kaii Setouchi Art Museum offers four times Exhibitions (from museum collections) and two times Special Exhibitions on a year. Selected from works we own, exhibitions introduce artworks under specific themes.

■ 観覧料　Admission Fee

	一般・大学生 Adults/University students	20名以上の団体料金 group rates for 20 and more
第1～4期テーマ作品展 Exhibitions from Museum Collections	300円(yen)	240円(yen)
春・秋の特別展 Special Exhibitions	610円(yen)	490円(yen)

※高校生以下、満65歳以上の場合は無料（当館受付にて証明書等を提示してください）
※2018年5月18日（国際博物館の日）は入館無料です。

*Free entry to high/junior high/elementary school students.
*Free entry for senior visitors aged 65 and over.
Please show proof of age (driver's license, passport,etc.) at the ticket office.
*Free admission on International Museum Day (May 18, 2018).

■ 開館時間

午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）
Open 9:00AM–5:00PM [Last entry 4:30PM]

■ 休館日

月曜日（休日の場合は開館、翌日火曜日が休館）
年末年始（2018年12月27日～2019年1月1日）
展示替えのための休館日
・2018年4月9日～13日（5日間）
・5月28日～30日（3日間）・7月17日～18日（2日間）
・9月10日～14日（5日間）・11月12日～14日（3日間）
・2019年1月28日～30日（3日間）

※ゴールデンウィークを含む4月29日～5月6日の期間、学校夏季休業日を含む7月19日～9月2日の期間は休館日なし。

Closed
Mondays [Tuesday, when Monday is a National Holiday]
※Except during Apr.29–May 6, and Jul.19–Sep.2 2018
Year-End and New Year Holidays [Dec.27–Jan.1]
Exhibition changing periods [Apr.9-13,May.28–30, Jul.17–18, Sep.10–14, Nov.12–14 2018, Jan.28–30 2019]

■ ラウンジ・カフェ　四国八十八景選定

瀬戸内に浮かぶ魁夷の祖父が生まれ育った櫃石島を眺望することができます。

カフェ営業時間／午前9時30分～午後4時30分
（午後4時オーダーストップ）

Lounge/Café
Refreshments are available at Cafe at Lounge with a splendid view of Hitsuishijima Island in the Seto Inland Sea, where the grandfather of Kaii were born and brought up.
9:30AM–4:30PM [Last order 4:00PM]

■ ミュージアムショップ

当館が所蔵する作品の絵はがきや額絵、便箋、コーヒーカップなどオリジナルグッズを販売しています。

The Museum Shop offers a variety of items that have been made based on the museum collections. Souvenirs on sale here include postcards, mugs, etc.

春の特別展　Special Spring Exhibition　2018年 4月14日(土)～5月27日(日)

■1・2階展示室　1st/2nd Floor

瀬戸大橋開通30周年記念　せとうち気分―多島海を描く

香川県櫃石島出身の祖父をもち、瀬戸内海を臨む神戸にて少年時代を過ごした東山魁夷にとって、瀬戸内海は心のふるさとでした。櫃石島を主題にした魁夷の代表作「暮潮」（東京国立近代美術館蔵）をはじめ、小野竹喬、平山郁夫、吉田博、南薫造など、近現代の画壇を代表する画家たちが、風景の美しさに目を向け描いた、瀬戸内海の魅力あふれる作品をご覧いただきます。また、瀬戸内の島で大切にされてきた民俗資料（国の重要有形民俗文化財）を合わせて紹介します。

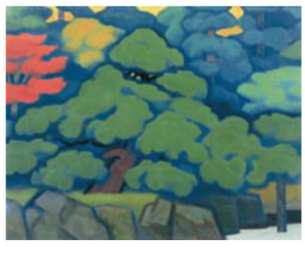
森谷南人子　遠帆連浪
[岡山県立美術館蔵]
MORITANI Nanjinshi
"Sailing Boats on the Rippling Sea"
Okayama prefectural museum of art

第1期テーマ作品展　Exhibition from Museum Collections 1　2018年 5月31日(木)～7月16日(月・祝)

■1・2階展示室　1st/2nd Floor

生誕110年記念　ひとすじの道／収蔵作品でたどる東山魁夷

東山魁夷（1908 ～ 1999）の生誕110年にあたって、当館所蔵の日本画作品（本制作）7点、「月宵」「夕凪（朝涼）」「緑溪」「松庭」「ウプサラ風景」「エルシノアの街」「月光」を一挙に公開します。日展に出品した「残照」が特選を受賞し、風景画家として立つ決意をした1947年から、1999年の90歳での絶筆「夕星」まで、代表作の版画作品などとともに制作年順に紹介し、その清澄な人生と画業をたどります。“ひとすじの道”に象徴される画伯自身のたゆまぬ歩み、美に捧げた誠実な姿勢が改めてしのばれます。



松庭
"The Garden with Pine Tree"

第2期テーマ作品展　Exhibition from Museum Collections 2　2018年 7月19日(木)～9月9日(日)

■1階展示室　1st Floor

写生と下図／風景を見つめるまなざし

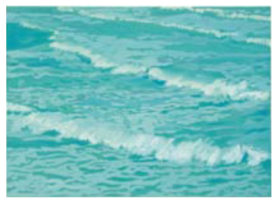
取材地で描いた写生（スケッチ）や、画室で練られた下図など、制作の原点やその通過点となる貴重な作品資料を展示します。実際の風景が、魁夷の目に触れ、心に響き、手を通して、風景画として完成に至る過程に想いを馳せながらご覧ください。

灘江暮色　大下図（左隻部分）
Large draft for "LiJiang at Twilight" (portion)

■2階展示室　2nd Floor

魁夷　海を想う

瀬戸大橋開通30周年にちなみ、魁夷と瀬戸大橋や櫃石島との縁を紹介し、魁夷が瀬戸内海を描いた数少ない作品の一つである「朝の内海」をはじめ、海を描いた作品を展示します。魁夷の心の奥底に瀬戸内海がきらめき続けていたことを想いつつ。



潮満つ（リトグラフ）
"High Tide"

秋の特別展　Special Autumn Exhibition　2018年 9月15日(土)～11月11日(日)

■1・2階展示室　1st/2nd Floor

生誕110年記念　夢を奏でる―東山魁夷とメルヘン

メルヘンとは、自由な想像で創られた物語であり、広くはその雰囲気や感覚をも示します。魁夷の生まれ育った横浜、神戸の異国情緒あふれる港町の風土や、少年時代の文学との親しみ、若き欧州留学で得た異文化経験から育まれた感覚は、時として作品の深奥にメルヘンの様相として見出されます。留学から帰国後描いた「格天井図 南方楽土」や、70歳を前に自らの言葉と絵で綴った詩画集『コンコルド広場の椅子』など、絵の中に映る魁夷の優しさと美の世界を紹介します。

格天井図 南方楽土 白象
（目黒雅叙園のための天井画）
"Ceiling and Wall Painting for Meguro Gajoen (White elephant)"

第3期テーマ作品展　Exhibition from Museum Collections 3　2018年 11月15日(木)～2019年 1月27日(日)

■1階展示室　1st Floor

語りかける風景／絵の主人公を探して

例えば、白馬や滝、空の月や樹木の一つひとつを、絵の中の登場人物と見なしてみましょう。それらは互いに語り合い、私たちに何かを語りかけているようです。生き生きとした舞台を見るように、作品から空想の物語を紡ぎ出してください。

草青む（リトグラフ）
"Grass Turned Green"

■2階展示室　2nd Floor

冬のドイツ／巡り来る季節の中で

留学時代の青春の思い出を胸に、魁夷が旅して描いたドイツの風景を紹介します。秋を経て冬、そしてまた新年へと季節は巡る中、魁夷の人生の春夏秋冬は一度きり。画家が寒さの中にみるものは年ごとに深まっていきます。

聖夜（リトグラフ）
"Holy Night"

第4期テーマ作品展　Exhibition from Museum Collections 4　2019年 1月31日(木)～4月7日(日)

■1階展示室　1st Floor

遍歴の風景／東西を旅して

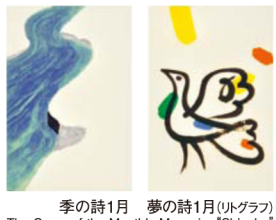
洋の東西を問わず、魁夷がスケッチに訪れた国内外の重要な取材地を紹介し、その旅の遍歴をたどります。自然の美、古今の美、心の美に触れた画家の魂の軌跡。普遍の美を追求し続けた魁夷の風景巡礼の足跡です。

晩鐘（リトグラフ）
"Evening Bell"

■2階展示室　2nd Floor

心の歳時記／『新潮』表紙絵

魁夷が手掛けた月刊『新潮』の表紙絵、1954～1955年の2年間分24枚を紹介します。移りゆく月ごとの自然に呼び覚まされる折々の季節感と心情に寄り添って、色に遊び、言葉に遊ぶ、画家ならではの歳時記としてお楽しみください。



季の詩1月　夢の詩1月（リトグラフ）
The Cover of the Monthly Magazine "Shincho"